



子育てチャンネル

子育てを通して、ともに成長する

私には5歳と0歳の娘がいます。

私たち家族が東川に引っ越ししてきたのは長女が3歳の秋でした。

まだまだお母さんっ子だった長女は、幼稚園に入っても先生や友達と遊ぶより私と一緒にいたい、と毎日泣いていました。

どうしたら楽しく登園できるか？毎日朝から娘を盛り上げて見送る日々。しばらくの間、一日の始まりがこうだったので、当時はなかなかハードな毎日でした。そんな時は町内で活動しているリコーダーアンサンブル「イコロ」のグループに出会い、初心者にも関わらず図々しくもメンバーに入れてもらい、週に一度の練習に顔を出させてもらうようになりました。

午前中はメンバーで練習、そして午後になると娘を幼稚園まで迎えに行き、練習場所に連れて行ってから再度練習。その練習の傍らで

娘は他のメンバーの子供たちと遊んで過ごす、そんなことが続いていきました。

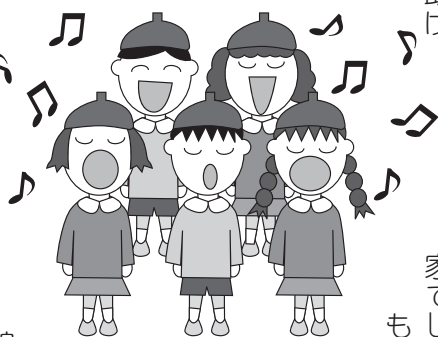
初めのころ、人見知りの娘は私のそばから全然離れず、はつきり言って練習どころではありませんでした。

が、メンバーの助けもあり、彼女もだんだん他の子供たちと遊べるようになってきました。

そして彼女にとつて大きな転機となったのは、

昨年の秋の次女の誕生でした。次女の面倒で手いっぱいなのを見て、恐らく彼女も私と遊ぶことを諦めたのでしよう。次第にうちよりも幼稚園の方が楽しいと思えるようになっていったようです。

今では「朝早く幼稚園に行つて友達と遊びたいの！」



と言つくらい幼稚園での毎日楽しいものになっていくようです。幼稚園の玄関での涙のお別れも、今となっては良い思い出です。お互い新しい環境で新しいことを始めました。

家でじっとしていてもつまらないし、何か始められたらいいな、という気持ちから私が出合ったのは「イコロ」でした。

娘のことを考えて、自分の希望で始めてしまったことでしたが、週に一度の練習日は今では彼女にとつても楽しみの一つとなっています。その影響か(？)、あの引っ込み思案の彼女が幼稚園の演奏パレードでは小太鼓をやりたい、と積極的に手を挙げたそうです。

私が勝手に始めてしまつたりリコーダーが、子どもに「楽器を使って演奏を楽しむ」という何かしらの良い影響を与えたのかな、と何だかうれしく思いました。

人見知りで新しい場所が苦手な長女。それは年長になつた今でもいろいろな場面で見受けられます。自分の子育て、娘への接し方が原因だったのかな？と悩んだこともありました。恐らくこれは持つて生まれた彼女の性格。

そういった短所に気を付けて変えていってやることも大事だと思えますが、その短所も「慎重」という長所としてうまく伸ばしてあげることが必要なのかな、と今では私もそのようにポジティブに考えられるようになりました。これは、娘の成長を通じて私自身も少し成長させてもらった証しではないかと思っています。

地域子育て支援センターママ

来田 由美子